

柳田邦男『人生の1冊の絵本』ブックリスト

岩波新書 2020.2

Part.1

- | | | |
|------------|-----|------|
| 1. こころの転機 | 12冊 | |
| 2. こころのかたち | 27冊 | |
| 3. 子どもの感性 | 13冊 | |
| 4. 無垢な時間 | 16冊 | 計68冊 |

絵本と出会い、何かが変わっていくかもしれない……。
 こころが何かを求めているとき、悲しみの中にいるとき、絵本を開いてみたい。
 幼き日の感性の甦りが、こころの持ち方の転換が、いのちの物語が、人を見つめる木々の記憶が、
 そして祈りの静寂が、そこにはある。
 150冊ほどの絵本を解説しながら、その魅力を綴る。

1. こころの転機

<p>1 指がなくても、お母さんになれるんだ</p>		<p>さっちゃんのまほうのて</p> <p>偕成社 1985 1,320円</p> <p>たばたせいいち 先天性四肢障害児父母の会 のべあきこ、しざわさよこ/共同制作</p> <p>先天性四肢欠損という障害を負って生まれたさっちゃん。傷つきながらも右手の指がないという障害を受けいれ、力強く歩き始める。</p>
<p>2 少女のこころの危機と絵の力</p>		<p>きょうは、おおかみ</p> <p>きじとら出版 2015 1,980円</p> <p>キョウ・マクレア/文 イザベル・アーセノー/絵 小島明子/訳</p> <p>バージニアの心の庭に、きれいな花は咲くのでしょうか？憂鬱な妹と、朗らかな姉—想像力あふれる姉妹の物語。</p>
<p>3 疎外された少女に雪解けが</p>		<p>ジェーンとキツネとわたし</p> <p>西村書店 2015 2,420円</p> <p>イザベル・アルスノー/絵 ファニー・ブリット/文 河野万里子/訳</p> <p>少女の揺れ動く心のみずみずしく描くグラフィックノベル。</p>
<p>4 もうひとつのこころの動きが ①</p>		<p>ひみつのビクビク</p> <p>あかつき教育図書 2019 1,760円</p> <p>フランチェスカ・サンナ/作 なかかわちひろ/訳</p> <p>新しい生活にふみだす子どもたちを応援する絵本。</p>
<p>5 もうひとつのこころの動きが ②</p>		<p>くろいの</p> <p>偕成社 2018 1,540円</p> <p>田中清代/作</p> <p>細やかな銅版画で愛情をこめて描いたあたたかな世界。</p>

<p>6 自己否定が 自己肯定に変わる瞬間 ①</p>		<p>はこちゃん</p> <p>講談社 2013 1,540円</p> <p>かんのゆうこ/文 江頭路子/絵</p> <p>「葉子」という名前をからかわれて悲しくなった、はこちゃん。その名前に込められた思いを知り……。親子のつながりを感じる絵本。</p>
<p>7 自己否定が 自己肯定に変わる瞬間 ②</p>		<p>カーくん と森のなかまたち</p> <p>ワイス・アウル 2007 1,650円</p> <p>夢ら丘実果/絵 吉沢誠/文</p> <p>自ら他の鳥と比較して生きる希望を失くしていくホシガラス。仲間自身に自身の存在価値を教えられ、「生きていていいんだ。皆がいて本当によかった」と思い返し立ち直っていく。</p>
<p>8 障がいのある子どもの 限らない創造力 ①</p>		<p>がらくた学級の奇跡</p> <p>小峰書店 2016 1,650円</p> <p>パトリア・ボラッコ/作 入江真佐子/訳</p> <p>「がらくた学級」と呼ばれる特別クラスに振り分けられたトリシャ、個性豊かな仲間たちとともに、本物のがらくたから模型飛行機をつくりあげ、大空へと飛ばす夢にいとむ。</p>
<p>9 障がいのある子どもの 限らない創造力 ②</p>		<p>みんなからみえない ブライアン</p> <p>くもん出版 2015 1,540円</p> <p>トルーディ・ラドウィック/作 パトリス・バートン/絵 さくまゆみこ/訳</p> <p>きつとどこのクラスにもいる「なんとなく目立たない子」。ちょっとした勇気や、小さな優しさがきっかけで、みんなが自分らしく輝けることを、あたたかいタッチで伝える。</p>
<p>10 何をするのが、 いちばんだいじか</p>		<p>3つのなぞ</p> <p>フレーベル館 2012 1,540円</p> <p>ジョン・J・ミユース/作 三木卓/訳</p> <p>人として正しい行いとは？トルストイの民話『3つの疑問』を子ども向けに優しく説いた、ミユースの会心作。</p>
<p>11 なにはともあれ 外に出てみよう ①</p>		<p>ホイホイとフムフム たいへんなさんぽ</p> <p>ほるぶ出版 2018 1,540円</p> <p>マージョリー・ワインマン・シャーマット/文 バーバラ・クーニー/絵 福本友美子/訳</p> <p>ホイホイは、一度も散歩をしたことがない友だちのフムフムを、散歩に誘いますが…。のんびりとした時間が流れる楽しい物語。</p>
<p>12 なにはともあれ 外に出てみよう ②</p>		<p>いっしょにおいでよ</p> <p>あかつき教育図書 2018 1,650円</p> <p>ホリー・M・マギー/文 バスカル・ルメートル/絵 なかかわちひろ/訳</p> <p>女の子はテレビのニュースを見ていて怖くなりました。テロやヘイトスピーチに負けないために、できることってなんだろう？</p>

2. こころのかたち

<p>1 人はなぜ学び、なぜ働き、なぜ祈るのか ①</p>		<p>いのる</p> <p>アリス館 2016 1,540円</p> <p>長倉洋海/写真・文</p> <p>何のために祈っているのだろう。世界各地で著者が捉えた人々の姿と言葉。違いと共通点、そこから見えてきたものとは。</p>
<p>2 人はなぜ学び、なぜ働き、なぜ祈るのか ②</p>		<p>はたらく</p> <p>アリス館 2017 1,540円</p> <p>長倉洋海/写真・文</p> <p>人は何のために、働くのだろう。真剣な眼差し、明るい笑顔。たくさんの人びとに出会い、見えてきたことは…。</p>
<p>3 人はなぜ学び、なぜ働き、なぜ祈るのか ③</p>		<p>まなぶ</p> <p>アリス館 2018 1,540円</p> <p>長倉洋海/写真・文</p> <p>家で、学校で、社会でいろいろな人から、いろいろなことを“まなぶ”。その先にあるものは…</p>
<p>4 人はなにを求めて旅に出るのか ①</p>		<p>オレゴンの旅</p> <p>らんか社 2018 1,980円</p> <p>ラスカル/文 ルイ・ジョス/絵 山田兼士/訳</p> <p>やがて大人になる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちのために。名作、待望の復刊。</p>
<p>5 人はなにを求めて旅に出るのか ②</p>		<p>クマと少年</p> <p>ブロンズ新社 2018 1,650円</p> <p>あべ弘士/作</p> <p>山の神クマとアイヌの少年をめぐる壮大ないのちの物語。</p>
<p>6 人はなにを求めて旅に出るのか ③</p>		<p>ジャーニー国境をこえて</p> <p>きじとら出版 2018 2,200円</p> <p>フランチェスカ・サンナ/作 青山真知子/訳</p> <p>戦争がはじまり、なにもかもがめちゃくちゃになった——。安全な国をめざして森を抜け、海を渡り、母と子のながいながい旅が続きます。子どもの目線で語られる、心を揺さぶる物語。</p>
<p>7 感性が刺激される逆転劇 ①</p>		<p>密林—きれいなひょうの話</p> <p>瑞雲社 2018 1,540円</p> <p>工藤直子/おはなし 和田誠/絵</p> <p>ほくは、ひょうです。見てください。ほくのきれいな斑点を。つやつや、ぴかぴか、すてきでしょう。ほく、とてもじまんなんです。ところが…</p>
<p>8 感性が刺激される逆転劇 ②</p>		<p>サイモンは、ねこである</p> <p>あすなる書房 2017 1,540円</p> <p>ガリア・バーンスタイン/作 なかがわちひろ/訳</p> <p>サイモンは、ねこである。こねこ v s 大型ネコ科動物の対決…?!</p>

<p>9 感性が刺激される逆転劇 ③</p>		<p>コートニー</p> <p>ジョン・バーニンガム/作 谷川俊太郎/訳</p> <p>だれもほしがらない、雑種でじいさんいぬのコートニー。でもコートニーはすてきだよ。 <新版></p>	<p>ほるぶ出版 2020 1,980円</p>
<p>10 光より速い人間の想像力 ①</p>		<p>このよで いちばん はやいのは</p> <p>ロバート・フローマン/原作 天野祐吉/翻案 あべ弘士/絵</p> <p>ウサギよりチーターは速い。チーターより新幹線、新幹線よりジェット機…。色々なものの速さを比べる。音より光より速いのは？</p>	<p>福音館書店 2011 990円</p>
<p>11 光より速い人間の想像力 ②</p>		<p>トムテ</p> <p>ヴィクトールニリードベリ/作 ハラルドウィーベリ/絵 やまのうちきよこ/訳</p> <p>しんしんと冷える北国の冬の夜、ひとり寝ずの番をする小人のトムテ。北欧の有名な詩と夜の神秘を描く絵に心がなごみます。</p>	<p>偕成社 1979 1,540円</p>
<p>12 光より速い人間の想像力 ③</p>		<p>つきのぼうや</p> <p>イブ・スバング・オルセン/作・絵 やまのうちきよこ/訳</p> <p>ある晩お月さまが下を見ると池に映ったもう一人のお月さまの姿が……。月のぼうやがお月さまのために冒険をします。空をどンドン降りていき、雲を通過して海の底まで。</p>	<p>福音館書店 1979 1,210円</p>
<p>13 光より速い人間の想像力 ④</p>		<p>IMAGINE イマジン(想像)</p> <p>ジョン・レノン/詩 ジャン・ジュリアン/絵 岩崎夏海/訳</p> <p>想像して、みんなが人生を平和に生きてるって。—1羽の鳩が一生懸命に伝えまわっているもの。それは、国や何もかもを越えた平和と友愛。</p>	<p>岩崎書店 2017 1,870円</p>
<p>14 ずっこけ、でも明日があるさ ①</p>		<p>あたしも びょうきに なりたいな！</p> <p>フランツ＝ブランデンブルク/作 アリキ＝ブランデンブルク/画 福本友美子/訳</p> <p>病気になったエドワードがうらやましい！だってみんなが優しくしてくれるんだもん！と、思っていると…。</p>	<p>偕成社 1983 1,320円</p>
<p>15 ずっこけ、でも明日があるさ ②</p>		<p>あなたって ほんとにしあわせね！</p> <p>キャスリーン・アンホルト/作 星川菜津子/訳</p> <p>今までは、お父さん、お母さん、そして私、3人家族だった。でも、お母さんが、赤ちゃんを生むことになり、私に弟ができた。赤ちゃんと私が、姉弟として仲良くなる様子が描かれ家庭の温かさが伝わる絵本。</p>	<p>童話館出版 2019 1,540円</p>
<p>16 ずっこけ、でも明日があるさ ③</p>		<p>こんな日だってあるさ</p> <p>パトリシア・ライリイ・ギフ/作 スザンナ・ナティ/絵 秋野翔一郎/訳</p> <p>やることなすことが裏目裏目にて、友達から笑われたりからかわれたり、その度にタイラー先生から注意されて。でもこの先生はただのガミガミ先生ではありませんでした。子どもを良く見ている心の優しいステキな先生でした。</p>	<p>童話館出版 2018 1,650円</p>

<p>17 ファンタジーは グリーンワークの神髄 ①</p>		<p>おじいちゃんのことものとも</p> <p>福音館書店 2011</p> <p>乾千恵/文 あべ弘士/絵</p> <p>「ことものとも」2011年9月号 亡きおじいちゃんの魂を受け継いで、明日を生きようとする少年のすがすがしさ。 『月人石 乾千恵の書の絵本』（福音館書店 2005）参照</p>
<p>18 ファンタジーは グリーンワークの神髄 ②</p>		<p>おじいちゃんのおゆめのしま</p> <p>評論社 2016 1,540円</p> <p>ベンジー・ディヴィス/作 小川仁央/訳</p> <p>大好きなおじいちゃんと船で出かけたシド。すばらしい島で夢のような時間を過ごした。でも、帰るときがきて… おじいちゃんと男の子の温かい物語。</p>
<p>19 ファンタジーの世界で 遊ぼうよ ①</p>		<p>ちいさなちいさな王様</p> <p>講談社 1996 1,430円</p> <p>アクセル・ハッケ/作 ミヒヤエル・ゾーヴァ/絵 那須田淳・木本栄/共訳</p> <p>この世の中のことは全て本当のことなのか？僕の人差し指サイズの小さな王様。王様の世界では大きく生まれて成長するにつれ小さくなり、しまいには見えなくなってしまうという。</p>
<p>20 ファンタジーの世界で 遊ぼうよ ②</p>		<p>とおい とおい おか</p> <p>至光社 2005 1,320円</p> <p>谷内こうた/絵・文</p> <p>羊飼いの犬はある日羊たちと遠い丘へ行きました。風と草の香りに包まれていると、羊がふわり空へ…。夢かうつつか、時空をこえた限りない希望の絵本。</p>
<p>21 ファンタジーの世界で 遊ぼうよ ③</p>		<p>ムーン・ジャンパー</p> <p>偕成社 2014 1,540円</p> <p>ジャンス・メイ・ユードリー/文 モーリス・センダック/絵 谷川俊太郎/訳</p> <p>くたびれたお日さまが、うとうと眠りかけた丘におりてきて、空に月がのぼった！夜の庭に出て、みんな裸足で踊りだす。草を踏んで、何度も何度も！風も一緒に、追いかけてこた。</p>
<p>22 ファンタジーの世界で 遊ぼうよ ④</p>		<p>みんなうまれる</p> <p>アリス館 2014 1,540円</p> <p>きくちちき/作</p> <p>太陽がほほえむと、芽がうまれ、虫も生まれ、色が生まれ…そして、ほくも生まれた。やがて夕方になり、太陽がまぶたをとじると、星たちがうまれる。太陽が見守る中で、すべてのものがうまれていく。</p>
<p>23 いまひとたびの、 あの元気と明るさ ①</p>		<p>リンゴのたび</p> <p>父さんとわたしたちがオレゴンに はこんだリンゴのはなし</p> <p>小峰書店 2012 1,650円</p> <p>デボラ・ホプキンソン/作 ナンシー・カーバンター/絵 藤本朝巳/訳</p> <p>アメリカ開拓時代に、リンゴなどの果樹を運んで育てた一家のお話。勇敢なおおっちょこちょいな父と、しっかり者の娘との絆を描く、楽しくて心温まる物語。</p>
<p>24 いまひとたびの、 あの元気と明るさ ②</p>		<p>走れ!! 機関車</p> <p>偕成社 2017 2,640円</p> <p>ブライアン・フロッカ/作・絵 日暮雅通/訳</p> <p>1869年、夏。ひとつの家族がアメリカ大陸の東から西へ向かって旅立った。開通したばかりの大陸横断鉄道に乗って。鉄の馬！煙とともにやってきた大きな機械、蒸気機関車は西へ続く鉄の道をひたすら走りつづける。</p>

<p>25 いまひとたびの、あの元気と明るさ ③</p>		<p>エマおばあちゃん、山をいく アパラチアン・トレイル ひとりたび</p> <p>ジェニファー・サームズ/作 まつむらゆりこ/訳</p> <p>67歳のエマ・ゲイトウッドは、全長3500kmのアパラチアン・トレイルを一人で歩き通した、初めての女性。雄大な自然の中で過ごす喜び。いくつになってもチャレンジするエマおばあちゃんのすがすがしさ。</p>	<p>あかつき教育図書 2018 1,980円</p>
<p>26 五〇歳からの六歳児感性の再生法 ①</p>		<p>さびしがりのクニツ</p> <p>トーベ・ヤンソン/作 渡部翠/訳</p> <p>ひとりぼっちのクニツが、友だちを探して旅に出て、すてきなガールフレンドにめぐり会うまでの、魂の成長を温かく描いた絵本。 <新版></p>	<p>講談社 2019 2,200円</p>
<p>27 五〇歳からの六歳児感性の再生法 ②</p>		<p>プー あそびをはつめいする</p> <p>A.A.ミルン/文 E.H.シェパード/絵 石井桃子/訳</p> <p>プーがコブタやウサギと一緒に、川に棒を投げて遊んでいたら、上流からイーヨーが流れてきました。</p>	<p>岩波書店 2016 1,100円</p>
<p>3. 子どもの感性</p>			
<p>1 夢のなかで遊ぶ子どもの世界 ①</p>		<p>はんなちゃんがめをさましたら</p> <p>酒井駒子/文・絵</p> <p>真夜中に目をさました女の子が初めてひとりで体験する夜の時間。しずかな夜の中で、ひそやかに気持ちがみたされる魔法のような時。</p>	<p>偕成社 2012 1,320円</p>
<p>2 夢のなかで遊ぶ子どもの世界 ②</p>		<p>3びきのくま</p> <p>ゲルダ・ミュラー/作 まつかわまゆみ/訳</p> <p>金髪巻き毛のゴルディちゃんが森の中で見つけたのは、3びきのくまのお家でした！世界中で愛されているお話が、新しい、おしゃれな絵本になりました。</p>	<p>評論社 2013 1,430円</p>
<p>3 夢のなかで遊ぶ子どもの世界 ③</p>		<p>こくばんくまさん つきへいく</p> <p>マーサ・アレクサンダー/作 風木一人/訳</p> <p>「こくばんくまさん」はアンソニーだけの不思議な友だち。ある晩、アンソニーが眠っている間に「こくばんくまさん」が作り始めたのは……。</p>	<p>ほるぷ出版 2013 1,430円</p>
<p>4 子ども時代を生きるとは ①</p>		<p>かあさんは どこ？</p> <p>クロード・K・デュボワ/作 落合恵子/訳</p> <p>災害、戦争、暴力、貧困…今も世界中の子どもたちが直面している、つらい出来事。「その子」はあなたであり、あなたの子ともかもしれません。壮絶な現実の中に、希望を見出すメッセージがこめられた1冊。</p>	<p>ブロンズ新社 2013 1,540円</p>
<p>5 子ども時代を生きるとは ②</p>		<p>おかあさんはなかないの？</p> <p>平田昌広/文 森川百合香/絵</p> <p>なみちゃんは、転んで痛くて泣いてしまいました。でも、お母さんが泣くのは、どんな時でしょう。注射したとき？それともおばけに出合ったとき？お母さんの涙が出るときは…。</p>	<p>アリス館 2013 1,430円</p>

<p>6 子ども時代を生きるとは ③</p>		<p>しげるのかあちゃん</p> <p>岩崎書店 2012 1,430円</p> <p>城ノ内まつ子/作 大畑いくの/絵</p> <p>2トントラックを乗り回し、あらゆる工具をつかい使いこなす。世界一かっこよくて頼りになるしげるの母ちゃん。</p>
<p>7 おさな子が「おにいちゃん」になるとき</p>		<p>ねえ、してる?</p> <p>岩崎書店 2017 1,650円</p> <p>かさいしんぺい/作 いせひでこ/絵</p> <p>みんなが君を待っているんだ。新しいいのちとの出会いととまどい、そして心からの喜び。</p>
<p>8 子どもが人生への一步を刻むとき ①</p>		<p>ひとりひとりのやさしさ</p> <p>BL出版 2013 1,540円</p> <p>ジャクリーン・ウッドソン/文 E.B.ルイス/絵 さくまゆみこ/訳</p> <p>転校生のマヤはクラスになじめず、学校に来なくなった。先生は水の入った洗いおけに小石を落とし、やさしさについて話し始め……。</p>
<p>9 子どもが人生への一步を刻むとき ②</p>		<p>ひみつの川</p> <p>BL出版 2013 1,760円</p> <p>マージョリー・キナン・ローリングス/文 レオ&ダイアン・ティロン/絵 小島希里/訳</p> <p>森の奥にあるという秘密の川。様々な魚がすむその川を探して少女カルパーニャは出かけた。飢饉で飢えた村人を救うために。</p>
<p>10 子どもが人生への一步を刻むとき ③</p>		<p>はじめての旅</p> <p>福音館書店 2013 1,650円</p> <p>木下晋/文・絵</p> <p>6歳の男の子が、お母さんと手をつないで出かけた。どこへいくかわからず、ひたすら歩いていく。そしてたどり着いたところは？</p>
<p>11 どんごのなかの生きる楽しさ ①</p>		<p>ごたっ子の田んぼ</p> <p>アリス館 2014 1,540円</p> <p>西村豊/文・写真</p> <p>ごたっ子たちが通う富士見町立本郷小学校は、長野県諏訪郡富士見町にある。標高は、約1080メートル。冬は、マイナス18度くらいになることもある。田んぼですごした楽しくて大切なとき……自然写真家西村豊の本。</p>
<p>12 どんごのなかの生きる楽しさ ②</p>		<p>カミツキガメはわるいやつ?</p> <p>フレーベル館 2015 1,540円</p> <p>松沢陽士/写真・文</p> <p>外来生物のカミツキガメ。著者は世間のイメージとは違う姿と駆除される現実を目の当たりにする。人と生きものの関係を考える1冊。 『田んぼと水辺の生き物』（学研教育出版）参照</p>
<p>13 どんごのなかの生きる楽しさ ③</p>		<p>クロテン</p> <p>アリス館 2012 1,540円</p> <p>竹田津実/文・写真</p> <p>森の家にやってくる、いろいろな動物たち。出会ったのは二頭のクロテンだった。 北国からの動物記シリーズ『キツネ』、『エゾシカ』</p>

4. 無垢な時間

<p>1 生きものの眼差し、人間の眼差し</p>		<p>ジャガーとのやくそく</p> <p>あかね書房 2015 1,540円</p> <p>アラン・ラビノヴィッツ/作 カティア・チエン/絵 美馬しょうこ/訳</p> <p>ハンディをのりこえて動物たちを守った少年の実話。吃音に悩み孤独だった少年時代、努力と勇気、そして動物たちとの絆を語る。</p>
<p>2 どうぶつが生きる、ひとが生きる ①</p>		<p>コウノトリ よみがえる里山</p> <p>小峰書店 2014 1,540円</p> <p>宮垣均/文 兵庫県豊岡市の人々/写真</p> <p>日本から姿を消したコウノトリが戻ってきてから10年。兵庫県豊岡市での、コウノトリと人との四季の暮らしを紹介していく。</p>
<p>3 どうぶつが生きる、ひとが生きる ②</p>		<p>ぞうのなみだ ひとのなみだ</p> <p>アリス館 2015 1,540円</p> <p>藤原幸一/文・写真</p> <p>ぞうもひとも、大切な命を守りたい。子ぞうのポロンは、大好きなお母さんといつも一緒。おとずれた突然の別れにポロンは...</p>
<p>4 どうぶつが生きる、ひとが生きる ③</p>		<p>返そう 赤ちゃんゴリラを お母さんに</p> <p>文溪堂 2013 1,430円</p> <p>あんずゆき/文</p> <p>京都市動物園で、親から離れた赤ちゃんをもう一度両親のもとに戻すという、日本で初めての試み。ゴリラから人へ、人からゴリラへ...命のバトン=赤ちゃんゴリラはつながるか...</p>
<p>5 いのちを育む 鳥の巣 讃歌 ①</p>		<p>ふしぎな鳥の巣</p> <p>偕成社 2007 1,540円</p> <p>鈴木まもる/文・絵</p> <p>鳥の巣は、鳥にとって一番大切な、卵やヒナを安全に育てる場所です。そのため親鳥は、敵に襲われないよう、また、寒さから卵やヒナを守るよう、いろいろな工夫をして巣を作っています。</p>
<p>6 いのちを育む 鳥の巣 讃歌 ②</p>		<p>ニワシドリのひみつ 庭師鳥は芸術家</p> <p>岩崎書店 2014 1,760円</p> <p>鈴木まもる/文・絵</p> <p>オスが、巣とは違う美しい造形物を作るユニークな習性から、「庭師鳥」と名づけられた鳥。そのふしぎな習性のひみつを探る。</p>
<p>7 いのちを育む 鳥の巣 讃歌 ③</p>		<p>鳥の巣いろいろ</p> <p>偕成社 2006 1,430円</p> <p>鈴木まもる/作・絵</p> <p>鳥は、卵をうむとき巣を作ります。巣の形、巣の大きさ、巣の材料、また、巣を作る場所、作り方は鳥の種類によって、いろいろです。鳥はなぜ、こんなにいろいろな巣を作るのでしょうか？</p>
<p>8 雪の森は こころを静寂の世界に ①</p>		<p>ゆきのよあけ</p> <p>童心社 2012 1,466円</p> <p>いまむらあしこ/文 あべ弘土/絵</p> <p>のうさぎの子は、しにものぐるいで雪をけります。雪をけて、けて、けりあげます。息の続く限り雪をけり、前へ、前へと跳び出してゆきます。足を止めたそのときが、のうさぎの子のいのちの終わりなのです。</p>

<p>9 雪の森は こころを静寂の世界に ②</p>		<p>ちいさな あなたが ねむる夜</p> <p>西村書店 2017 1,540円</p> <p>ジーン・E・ペンジウォル/文 イザベル・アルスノー/絵 河野万里子/訳</p> <p>北の国の静かな夜、子守歌のように神秘的な美しさを見せてくれる大自然。雪がそっと降りはじめ、動物たちが姿をあらわし、いつしか空には星が輝きだします。大自然の鼓動を感じながらあたたかな室内でねむる子どもを見守る母…</p>
<p>10 無垢な時間を与えてくれる 動物たち ①</p>		<p>わたしのろば ベンジャミン</p> <p>こぐま社 1994 1,320円</p> <p>ハンス・リマー/文 レナート・オスベック/写真 松岡享子/訳</p> <p>スージーは、地中海の島に住む女の子。ろばのベンジャミンとは、散歩をするときも、夜眠るときもいつも一緒。少女と動物のふれあいを、詩情あふれるモノクロ写真で綴ってゆきます。</p>
<p>11 無垢な時間を与えてくれる 動物たち ②</p>		<p>どうぶつがすき</p> <p>あすなろ書房 2011 1,650円</p> <p>パトリック・マクドネル/作 なかがわちひろ/訳</p> <p>チンパンジーのぬいぐるみジュビリーをおともに、いつも生きものを観察していた女の子ジェーン。彼女には大きな夢がありました。それは…。動物行動学者ジェーン・グドールの子どもの時代。</p>
<p>12 無垢な時間を与えてくれる 動物たち ③</p>		<p>よつごのこりす はるくんの おすもう</p> <p>アリス館 2015 1,540円</p> <p>西村豊/著</p> <p>はるくんは、兄弟のなっちゃんにおすもうを挑むが、すぐに負けてしまう。腕や足を鍛えたり、あきらめないで練習を続けて再挑戦！さて、勝負の結果は？</p>
<p>13 無垢な時間を与えてくれる 動物たち ④</p>		<p>エゾリス</p> <p>アリス館 2015 1,540円</p> <p>竹田津実/文・写真</p> <p>わが家に通ってきたアカキチ。4年間見守り続けたのちには…北国からの動物記シリーズ</p>
<p>14 冬でも生きている 小さいのち ①</p>		<p>ふゆのむしとり?!</p> <p>ほるぷ出版 2014 1,430円</p> <p>はたこうしろう・奥山英治/作 はたこうしろう/絵</p> <p>あれ？冬に虫捕り網もって、お兄ちゃんどこ行くの？ザックザックザック。静かな冬の森に二人の足音が鳴り響く。生きものなんているのかな。</p>
<p>15 冬でも生きている 小さいのち ②</p>		<p>雪虫</p> <p>福音館書店 2021 1,430円</p> <p>石黒誠/文・写真</p> <p>まるで雪がまうように、フワリフワリと飛ぶこの虫は、次の世代の卵を産むまでに、8～9回も「生まれかわる」ふしぎな生き方をしている。いわば「命のリレー」をして、次世代に生命をつなぐ。</p>
<p>16 冬でも生きている 小さいのち ③</p>		<p>ちいさなちいさな めにみえないびせいぶつのせかい</p> <p>ゴブリン書房 2014 1,650円</p> <p>ニコラ・テイビス/文 エミリー・サットン/絵 越智典子/訳 出川洋介/監修</p> <p>わたしたちの身のまわりにいる、目に見えない、ちいさな、ちいさな生きもの—微生物。その存在と、わたしたちの暮らしとの関わり、自然界での大きな役割を、子どもたちにわかりやすく伝える。</p>

「大人こそ絵本を」

「絵本は人生に三度(幼少期、子育て期、中高年期)」

「大人の気づき、子どものこころの発達」

という呼びかけを始めて、二〇年になる。

合理主義、効率主義、利己主義、ネット依存が支配的になっている索漠とした時代状況のなかで、この本が人々のこころと人生の歩みに少しでも温もりをもたらすことができたらと願っている。私は人間のいのちやこころを不条理に破壊する戦争、災害、事故、公害、病気、凶悪事件、貧困などについて、その根源にある問題を明らかにしたいという思いで、半世紀余りにわたり取材・調査・執筆の活動を続けてきたが、特に八〇歳を過ぎてからは、それらの仕事をテーマ別に総括する作品群の執筆に取り組んでいる。この本は、その一冊でもある。

(『人生の1冊の絵本』あとがきより 柳田邦男)